



# 3歳児クラス 8月 第3回 「くれよんのくろくん」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な「お絵描き」のストーリーを通して、わくわく気分を体感できるように読み進める。</li> <li>「くろくん」の気持ちになって、仲間に入れてもらえない悲しい気持ちが伝わるように読み進める。</li> </ul>	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「♪なんのいろ～なんのいろ」とリズムカルに歌いながらお部屋にあるさまざまな具体物の色を問いかける。色に興味を持ったところでお話をスタートする。</li> </ul>	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちと一緒に導入、お話を楽しむ。</li> </ul> 

## がくしゅうタイム

活動①	知識	クレヨンの色と名前を一致することができる	なし
設問	クレヨンの箱を開け、色の名称を確かめましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「♪なんのいろ～なんのいろ」クレヨン持って登場。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「クレヨンには色がいっぱい!色の名前全部わかるかな?」とクレヨンを講師に渡す。</li> <li>講:「今日はみんなで何色があるか見て見ましょう」</li> <li>保:クレヨン配布</li> <li>講:クレヨン一本を選び掲げ「♪な～んのいろなんのいろ?」と問いかける。</li> <li>子:色の名前を答え同じ色を持って掲げる。</li> <li>講:「ピンポン!!」と賞賛。もう一度皆で名前を復唱する。</li> <li>以上を楽しく繰り返し、色の名前を一本一本確認する。特に水色・橙・黄緑・灰色・紫・黄土色などの中間色がこの時期確認したい色です。今後の保育の中でも意識して繰り返し確認することで色の名前が定着できるようにしていきましょう。</li> <li>※子どもたちのクレヨンの色が揃っているかあらかじめ確認しておくとうい。</li> </ul>		保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> <li>クレヨン配布</li> <li>色に戸惑う子の補助</li> </ul>
活動②	色	色の名前を理解して指示された色を実際に塗ることができる	
設問	お話を聞き、指示された色でクレヨンの色を塗りましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「色の名前覚えたかな?色のクイズチャレンジしてみる?」とプリント提示。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「先生やりたい!みんなは?」意欲を引出しチャレンジさせる。</li> <li>保:プリント配布。</li> <li><b>数にチャレンジ</b>・講:「クレヨン全部で何本あるかな?一緒に数えてみましょう」一番左のクレヨンを全員で指をさして確認後声に出してクレヨンの数を数えていく。「全部で4本」</li> <li>講:「一番左はどれだった?そのクレヨンの色は〇〇です」と色を塗るクレヨンを子どもたちと一緒に指さし確認してから色の指示を出していく。</li> <li>出題する色は ①黄緑 ②灰色 ③黄土色 ④橙</li> <li>色の理解が不安な場合は塗る前に指示された色を掲げ、答え合わせをしてから塗る。</li> <li>間違えてもいいから周りの友達を見ないでクレヨンを選ぶように声をかける。子どもの視線に気をつけ迷っている子には保育士が声をかけ個別に指導する。</li> <li>保育士は講師の問題の指示を繰り返さず先ずは見守る。</li> <li>クレヨンの全体が塗れなくても良い。一問ずつ花丸やスタンプで賞賛しテンポ良く次に進む。4本塗れたら終了。プリント回収。</li> </ul>		保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント提示、配布</li> <li>指示理解、不安な子へのフォロー</li> <li>色の塗り方個別指導</li> <li>賞賛</li> <li>プリント回収</li> </ul>

<b>活動③</b>	<b>表現</b>	色々な色を使って花火を表現することができる	
<b>設問</b>	<b>クレヨンで黒の画用紙に花火を描きましょう</b>		なし
<b>こま</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：絵本または映像で最終ページを見ながら「今日はたくさん色使ってみみんなも綺麗な花火描いてみない？」</li> </ul>		<b>教材</b>
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：画用紙配布</li> <li>講：見本行動。 頻繁に色を変え色の名前を確認し「ひゅ～ばん！」「きらきら」「ばん！ばん！ばん！」など擬音をおりまぜながら楽しくダイナミックに描いていく。</li> <li>子：色をたくさん使い、ダイナミックに花火を表現させていく。</li> <li>この時期多色を使いこなすのはまだまだ難しい時期。単色で描き続ける子には「色変えてみようか？次は何色にする？」などと声をかけ、色を意識できるようにすると良い。</li> <li>描いた絵は壁などに貼り「色がいっぱいきれいだね！」と賞賛。終了する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動3用黒画用紙</li> <li>先生用黒画用紙</li> <li>★クレヨン</li> </ul>
			<b>保育士の役割</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>画用紙配布</li> <li>たくさん色に意識が向くような声掛け</li> <li>賞賛</li> </ul>

<b>数子ヤレ</b>	<b>数える</b>	クレヨンの数を数える（4本）	<b>教材</b>
<b>設問</b>	<b>くれよんはいくつありますか？数えてみましょう。</b>		
<b>活動内容</b>	※今回は<活動②>の中で実施。		<b>保育士の役割</b>